

(2) 北九州エアターミナル株式会社による航空会社・テナント支援と経営状況について

【航空会社・テナント支援について】

スターフライヤー社など、北九州空港に入居する航空会社をはじめ、航空関連会社、また商業テナント等、新型コロナウイルス感染拡大による影響下においても事業を継続していけるよう、各社に対して賃料等の減免により支援を行う。

① 航空会社・航空関連会社への支援策

○賃料・管理費・設備使用料を当初3月間50%減免、その後の9か月間20%減免する。

→全体：予算(3億1,400万円)－減免(8,600万円)＝減免後ビル収入見込(2億2,800万円)

② 物販・飲食などの商業テナントへの支援策

○賃料・管理費・電気水道代を当初6月間50%減免する。

→全体：予算(5,900万円)－減免(1,500万円)＝減免後ビル収入見込(4,400万円)

【経営状況】

① 収支見込

OR2 予算：売上高3億8,800万円(前年度6割減)、当期損失4億500万円の見込み

(単位：百万円)	R1 決算	R2 予算	前年度比較
売上高合計	943	388	▲556
原価販管費	930	798	▲132
営業損益	13	▲411	▲424
営業外収支	32	6	▲26
経常損益	45	▲405	▲450
当期利益	37	▲405	▲442

(※) 予算算出に係る前提条件については、今後の旅客需要の予測が不透明なため、下記の通り。

- ・国際線に関する収入、商業テナントの売上歩合収入は見込まず
- ・国内線旅客数は例年の30%程度で算出

② キャッシュフロー見込

○今期期末残約4億8,000万円の見込み。資金ショート懸念なし。(3億円で新規借入を要検討)

(単位：百万円)	R2 予算
期首現金	813
当期損益	▲405
減価償却費	272
返済・設備投資	▲201
期末残	479